

～立夏～ 風薫る初夏

5月5日は、二十四節気の1つ「立夏」にあたり、新緑も目立ちはじめ、初夏が感じられるすがすがしい季節の始まりです。

これは日本の上空を大きく広がる、まだ暖かくなく、湿っていない高気圧がもたらします。

意外にも5月は4月より降水量が多いのですが、これは5月の日差しで地上は暖められますが、上空には冷たい空気があるため、大気が不安定になり、急な雨や雷、時には雹も観測されるためです。

急な天気の変化には注意が必要ですが、とはいっても、さわやかな季節には違いありません。旅行やレジャーを大いに楽しみたいですね。

ちなみに五月雨（さみだれ）は「五月」と書きますが、長雨を表す梅雨の雨のことで、旧暦の五月は、今の6月～7月半ばにあたります。

五月晴（さつきばれ）も五月雨の時の晴れ間を指した言葉です。

（次回号は～梅雨～）

